

鳥やチョウの中継地点をつくる

SDGsラジオを讀んでみよう！

みなさんは鳥がどれだけの距離を飛べるか知っていますか？

カモなど休まずに何千キロも飛べる鳥たちもいますが、例えば、キツツキの「コゲラ」は約200メートル程度です。

こういった鳥は、自分たちが好きな木に立ち寄って移動しています。

言い換えると、まとまった大きさの緑や好きな木が所々にないと、いろいろな場所に移動できないんです。

そこで、マンションなどの住まいをつくる会社「三菱地所レジデンス」では、その地域の生き物や植物の環境を守る「ビオ ネット イニシアチブ」という取り組みを進めています。

マンションの敷地内に鳥たちが好む「地域になじみのある木」を植えることで、立ち寄る場所を作っているんです。

そうすることで、近くの緑や公園に飛んでいきやすくなるんですよ。

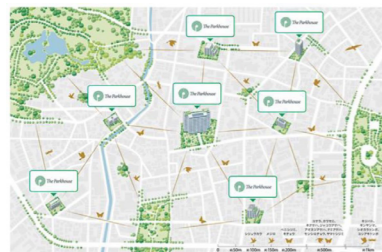
みなさんは、鳥たちが好きな木を知っていますか？

おうちの近くにあるかを調べてみましょう！

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：コゲラと長い距離を移動する渡り鳥



画像参照：三菱地所レジデンスが手がけるマンション「ザ・パークハウス」による、緑のネットワークの図（三菱地所レジデンス公式HPより）

ハトやスズメ、カラス、カモなど、私たちの周りにはさまざまな鳥がいます。これらの鳥は種類によって一度に飛べる距離が異なります。たとえば、渡り鳥であるカモは休まずに何千キロも飛べますが、都市にすんでいるキツツキの「コゲラ」は約200メートルしか飛べず、好きな木や過ごしやすい木に立ち寄って移動します。つまり、都市にすんでいる、飛べる距離が短い鳥が移動して生活するには、中継できる「まとまった大きさの緑や鳥が好きな木」が必要となります。そこで、マンションなどの住まいを作る会社「三菱地所レジデンス」は、「ビオ ネット イニシアチブ(BIO NET INITIATIVE)」という取り組みを通じて、提供するマンションが鳥たちの中継地点になるような環境をつくっています。

この「ビオ ネット イニシアチブ」では、人と自然が共生することをめざし、地域の自然環境を守るためにさまざまな取り組みを行っています。そのひとつが、マンションの敷地内に植える植栽（樹木や草花）に、地域になじみのある種類のものを選ぶことです。これにより周辺の森や林、公園などにすんでいる鳥にとっての立ち寄る場所が生まれ、好きな場所に移動しやすくなります。また、周辺環境に合わせて植栽（樹木や草花）を選ぶことは、地域の生き物や植物の生態系を守ることもつながると考えられています。都市は緑地が少なく生き物がすみにくい環境であることから、「ビオ ネット イニシアチブ」のような自然に配慮したまちづくりが、いろいろな場所で進められています。

キーワード

コゲラ

全長15センチメートル程度のキツツキの一種。背中が茶色に白い点模様があり、オスは頭の両側に小さな赤い羽があります。北海道から沖縄まで日本全域に広く分布しています。

共生

互いに助け合いながら生きることです。例えば、木が酸素を作り、人間はその酸素を使って生きる関係が「共生」にあたります。

生態系

生態系とは、生き物や植物、微生物などが互いに関わり合いながら共存する自然のしくみのことです。

対象ゴール



みなさんにできること！

おうちの周りにはどんな木が生えていて、どんな種類の鳥がいるか調べてみましょう。

- 鳥の中には、一度に200メートルほどしか飛べない鳥がいる。
- 長い距離を飛べない種類の鳥は、好きな木・過ごしやすい木を中継地点にして移動する。
- 三菱地所レジデンスでは、「ビオ ネット イニシアチブ」という取り組みを通じて、地域の生き物や植物の環境に配慮している。

メモ



SDGs ラジオ